

『チベット医が語るラダックの魅力』のお知らせ

チベット医学の専門家による講演会を開きます。

講師の小川康さんは、チベット医学界から認定されたチベット医です。ダライ・ラマが住むダラムサラ（インド北部）でチベット医学大学に入り、10年にわたって修学しました。その前後には、薬草を探したりチベット医に会ったりするために、ダラムサラから近いラダックへ何度も足を運んでいます。

チベット系住民やチベット難民が多く暮らすラダックは、中国チベット自治区よりもチベットの伝統が息づいているといわれ、小チベットとも呼ばれています。風土や薬草などの植生がチベット本土に似ていて、伝統的なチベット医学が今も暮らしに根づく土地です。チベット医としての体験談とともに、小川さんから見たラダックの魅力を語っていただきます。



- 日時： 8月29日(土) 14時～16時半
- 会場： 新宿歴史博物館（講堂）
（新宿区三栄町 22、TEL:03-3359-2131）
- 会費： 1,000円（学生 500円、留学生無料）
- 講師： 小川康氏（チベット医、「森のくすり塾」主宰）
- 主催： カワカブ会（連絡先は下記）

*予約不要ですが、参加人数をご連絡頂けると助かります

*facebookのイベントページにも詳細を載せています

<https://www.facebook.com/events/1790496647843657/>

【小川康(おがわ・やすし)さんのご紹介】

1970年生まれ。富山県出身。「森のくすり塾」主宰。東北大学薬学部卒。薬剤師。2001年、チベット医学暦法医学大学に外国人として初めて合格し、2007年卒業。チベット医となる。チベットの歌や踊りにも造詣が深い。2013年～15年には早稲田大学・文学学術院に在籍。修士論文テーマは「薬教育に関する総合的研究」。主著に『僕は日本でたったひとりのチベット医になった ヒマラヤの薬草が教えてくれたこと』。TEDx(長野県佐久市開催)でプレゼンテーションしている。

<https://www.youtube.com/watch?v=l6O4TX3mHw4>



【カワカブ会】 梅里雪山(チベット名:カワカブ)を中心に、ヒマラヤ・チベット地域の自然と聖地に関する情報を発信して、ともに学ぶことを目的とした集い。聖地を訪ねる旅や講演会を主催している。

《連絡先》 横浜市青葉区鴨志田町 569-1-21-508、Tel・Fax:045-507-5677、bakoyasi@gmail.com

〈小林尚礼〉 カワカブ会主宰。人間の背後にある自然をテーマに撮影・執筆を行なう。主著『梅里雪山 十七人の友を探して』。京都大学大学院(環境工学)修了。京大学士山岳会理事。ラダックの聖地を取材したときチベット医(アムチ)やシャーマン(ラバ)と会って、その深遠な世界を知りたいと思い今回の講演会を企画。